

## 『土の器に宝！』 コリント人への手紙第二4章7～9節 2016.3.20(礼拝説教より)

『私たちは、この宝を、土の器の中に入れていたのです。それは、この測り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかにされるためです。』 II コリント 4:7

◆人生の重要なキーワードは「気づき」だと言われる。どんな絶望的状况にも必ず意味があり、ピンチはチャンスだと気づくこと！パウロは生涯の激しい試練の中で、常にそこに神の助けがあり、希望が消えなかったことを経験した。「土の器に宝を持っている(7節)」とは、「弱く脆い私たちに、計り知れない神の救いが現される」の意。「宝」とはキリストご自身！弱い者こそ真実に、本気で、心から神の助けを慕い求めるものではないだろうか！

◆「四方八方から苦しめられますが、窮することがない(8節)」とは、ストレス満載でも窮地に追い込まれることなく、悩みに明るく前向きに対処できること！救い主が共におられ、味方となり、助けてくださると知ったから！「途方にくれても行き詰らない(8節)」とは、「あれもこれも全部ダメ…お手上げ状態となっても、いつも道が開かれた」の意(⇒箴言 3:5～6)！エジソンは挫折の幼少期を母の愛と信仰により育まれた。1万回の試行後に電球を発明した彼は言う…「疑いと敗北と弱さに疲れ、不安や心配でうんざりする人生に、聖書だけが救い主を示し、全生涯を造り変える力の泉となった」と。彼は1万通りの不成功例を取り除いた末、ついに、燃え尽きない光り輝く電球を発明した！

◆「土の器に宝」…この弱さと挫折に満ちた私たちと、救い主イエス様が共におられるとは具体的にどうということなのか？①第一に、救い主の言葉が心に刻まれていること！主は、『わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい(ヨハネ 15:7)』と言われた。神は、私たちが聴いて信じ、受け取った御言葉を通して豊かに働かれる。②神の力が現れるのは第二に、聖霊様が心におられるから。『この希望は失望に終わることがありません。なぜなら、私たちに与えられた聖霊によって、神の愛が私たちの心に注がれているからです(ローマ 5:5)』。私たちと共におられる聖霊様が、神の愛を実感させてくださる。③第三に、弱い私たちは神の愛と結ばれてこそ、どんな試練でも助けと導きを確信できる！

★今週も、あらゆる問題の中に、救い主の希望の言葉が輝き、神の愛と慰めへの感謝があふれますように！